



ひいらぎいわし

せつぶん 節分



ふくまめ福豆

せつぶん りっしゅん ぜんじつ ふゆ はる ふしめ ひ
節分は、立春の前日で、冬から春にかわる節目の日です。

せつぶん の日には「^{まめ}豆まき」をして1年の健康を願います。年齢より1つ多い
かず ^{まめ} 数の豆を食べることによって、健康でいられるといわれています。

また、ひいらぎの枝にいわしの頭を刺した「ひいらぎいわし」を玄関先に
かざ ^{びょうき} 飾ります。これは、病気などの災いを鬼に例えた魔除けの風習で、鬼がト
ゲトゲのひいらぎの葉を痛がり、いわしの頭はくさくて近寄れないと思われ
ているからです。

きょう きゅうしょく うめに
今日の給食は、「いわし梅煮」

ふく ^よ 福豆のに入った「鬼除け汁」、

「節分デザート」がつきます。



すこ ^{はや} 少しい節分献立ですが、福を呼び込むように楽しくいただきます。

